

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-158	小学校	体育	保健	3・4年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	保健 308	新 小学校ほけん 3・4年		

1. 編修の基本方針

ポストコロナ時代の保健の教科書を創る 3つの編修方針

子どもたちが豊かな人生を送り、よりよい社会づくりに主体的に参加していくための土台となるのが健康です。私たちはこの健康の大切さについて、新型コロナウイルス感染症のパンデミックに直面することによって、より一層強く意識するようになりました。このかけがえない健康について、初めて学ぶ場になるのが小学校の保健です。

本教科書では、このような状況にあって、教育基本法の目的および理念を実現すべく、次の編修方針を立てました。



方針

1

児童が主体的に学ぶことができ、先生も使いやすい教科書

- ① 工夫された授業の導入で、保健の見方・考え方を働かせた主体的な学習がスタートできます。
- ② 3ステップのシンプルな学習過程で構成し、児童も先生も使いやすい教科書です。



方針

2

みんなと考え、話したくなる教科書

- ① 友達と話し合い、考えを共有する対話的な学びで、楽しく学び合うことができます。
- ② 記入スペースを設けて、思考・判断したことを表現できるようにしています。



方針

3

社会の急速な変化に対応した、深く学べる教科書

- ① 充実したデジタルコンテンツが、タブレット学習をサポートします。
- ② パンデミックやICTの進展など、急速に変化する社会に対応した資料を多数扱っています。





- ① この教科書は、身近な生活の中から課題を発見することに主眼を置き、授業の導入を工夫しています。保健の見方・考え方を働かせて、主体的な学びをスタートすることができます。

授業の導入の活動

課題をつかもう では、身近な生活の中から健康課題を発見する活動を設定しています。

また、**きょうの課題** では、発見した課題を学習対象として捉えて、学習の見通しをもてるように工夫しています。

① けんこうな生活

3 体のせいけつとけんこう

課題をつかもう あなたも下の絵のようなけいけんは、ありませんか。どうして、「手をあらってから食べなさい!」と言われるのでしょうか。

けいさん いただきます! おやつあるわよ。 いただきます! しっかり手をあらってから食べなさい! よごれていないから平気なのよ。

きょうの課題 体や衣服をせいけつにすることは、どうして大切なのでしょう。

▲p.18

- ② ステップ①→②→③のシンプルな学習過程で構成しているため、授業の流れがわかりやすくなり、児童が主体的に学習を進められます。また、「保健の授業はちょっと苦手」「教材研究の時間が足りない」という先生でも、安心して指導することができます。

① けんこうな生活

3 体のせいけつとけんこう

STEP 1

課題をつかもう あなたも下の絵のようなけいけんは、ありませんか。どうして、「手をあらってから食べなさい!」と言われるのでしょうか。

けいさん いただきます! おやつあるわよ。 いただきます! しっかり手をあらってから食べなさい! よごれていないから平気なのよ。

きょうの課題 体や衣服をせいけつにすることは、どうして大切なのでしょう。

STEP 2

調べよう 水でしめせただっしめんを手をふいたら、だっしめんはどうなるでしょうか。

ふく前の手—よごれているように見えません。 手のひらや手の間をふく。 ふいた後。 ふく前のだっしめん(左)とふいた後のだっしめん(右)。

実験 手のよごれ。 手のひらを筆尖につけて2〜3日たつと、手についた細菌が目で目に見えるようになります。

解説 細菌は目に見えない小さな生き物です。黄衣のもとになる細菌には、大腸菌(写真)や乳酸菌などがあります。乳酸菌やビフィズス菌などは体の健康に役立つ菌もいます。

まとめ 身の回りの、目には見えない細菌などが体の中に入ると、病気になることがあります。手を洗い、手をせいけつにすることで、細菌などが体に入ることをふせぎ、病気を予防することができます。

STEP 3

衣服のせいけつ

考えよう 毎日、下着やハンカチを取りかえるのは、どうしてだと思いますか。下の写真を見て、理由を書きましょう。

実験 1日着ていた下着と1日使ったハンカチのよごれ。 取りかえる理由。

よごれた下着やくつ下などの衣服、ハンカチを放っておくと細菌がふえて病気のもとになります。毎日をけんこうにすごすために、体や衣服のせいけつをたもつようにしましょう。

まとめ 生かそう 伝えよう 18ページ「課題をつかもう」で「よごれていないから平気なのよ」と思っているけいさんに、手あらいの大切さを教えてあげましょう。

手あらいの大切さ

▲p.18-19

3ステップの学習過程

STEP 1

これから学ぶことへの興味や関心を高め、学習の見通しをもちます。

STEP 2

課題を解決するためのさまざまな活動に取り組みます。

STEP 3

この時間に学習したことを生かして考えたり、友達の考えと比較したりして、学習をまとめます。



- ① 友達と話し合い、互いの考えを共有する**対話的な活動**を豊富に用意しています。

さまざまな活動を通して、対話的な学びの意義や楽しさを味わうことができます。

▼ p.29

大きくのびた羽のちがいが、男女ののびのちがいをみてみましょう。

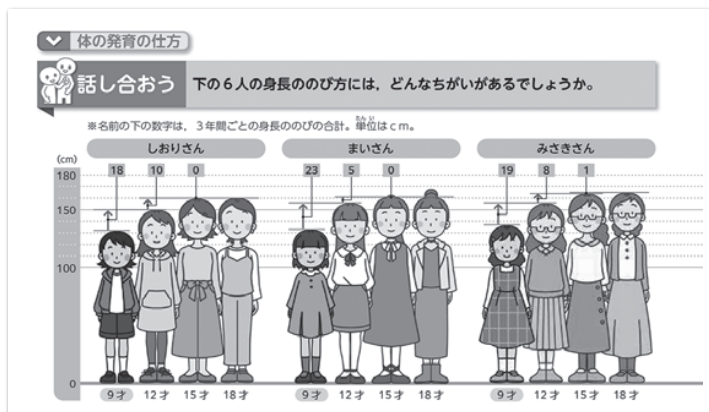


9才のときは小さかったけれど、18才でいけば大きくなった人は、だれかな。

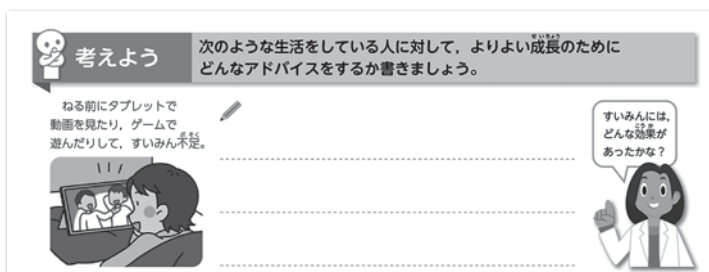
思考したり判断したりするためのヒントを、キャラクターが提示しています。

- ② **記入スペース**を適度に設けて、思考・判断したことを表現できるようにしています。

ワークシートを使うように、教科書に書き込むことができます。教科書の用紙は、書きやすく丈夫な用紙を採用しています。



▲ p.28



▲ p.41



- ① 1人1台の端末環境下での**タブレット学習**をサポートするために、**デジタルコンテンツ**を充実させています。

動画やシミュレーション、ウェブクイズなどのさまざまなコンテンツを用意しています。紙面のQRコードから簡単にアクセスできます。



ほけんクイズにトライ！

動画	けんこうなじょうたい	10	シミュレーション	のびた身長	27
動画	1日の生活のリズム	15	動画	体の発育の仕方	29
実験	手についた細菌	18	動画	思春期にあらわれる体の変化	31
実験	下着のよごれ	19	動画	変化の起こる仕組み	32
実験	空気の流れ	21	動画	骨の成長の仕方	35
ウェブサイト	正しい手洗い方法	22	動画	月経の仕組み	36
			ウェブサイト	子供の体力向上	39
			ウェブサイト	「いかのおすし」で毎日安全	45

▲ p.8

- ② **急速に変化する社会**の中で**健康課題**として浮上しているテーマなどを資料として数多く取り上げています。

資料タイトル	ページ	資料タイトル	ページ
早ね早起き朝ごはん① 朝ごはんを食べよう	16	月経の仕組み	36
早ね早起き朝ごはん② 生活のリズムをチェック	16	新しい命のたんじょう	36
体を動かすチャンスはいっぱい	17	みんなちがって、みんないい	37
スマートフォン・タブレットと生活のリズム	17	こんな動きや運動にチャレンジしよう	42
手のあらい方	22	運動のしすぎに気をつけよう	43
スマートフォン・タブレットと目のけんこう	22	体の成長を助ける成長ホルモン	43
空気の入れかえの仕方	23	安全に外遊びをするために	45
学校でのみんなのけんこうを守る活動	23	地震から身を守ろう	46
骨の成長	35	仲間とのよりよい関係づくりのために	47
歯の成長	35	よりくらしやすい社会を目指して 共に助け合って生きよう	48

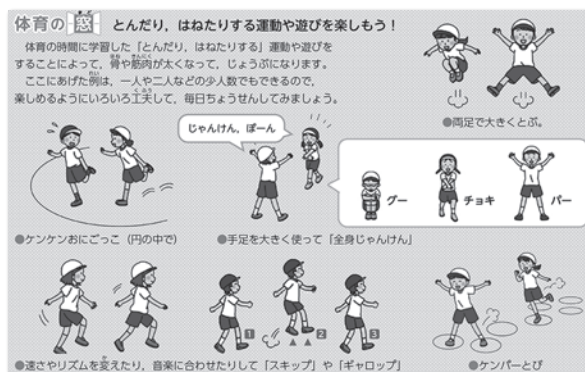
2. 対照表

図書の 構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
教科書全体	<ul style="list-style-type: none"> ●全体を通して多様なテーマを取り上げ、健康や安全と結びつけて理解することで、幅広い知識と教養を身につけることができるようにしています。(第1号) ●外国にルーツを持つ児童のイラストを随所に配置し、他国を尊重する態度を養うことができるようにしています。(第5号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書全体 ・教科書全体
巻頭口絵	<ul style="list-style-type: none"> ●「生活の中のほけんをさがそう!」「なぜほけんを学ぶのかな?」では、生活の中にある健康や安全に目を向けることで、健やかな身体を養うことの重要性について、理解できるようにしています。また、健康や安全を守る仕事をしている人を取り上げて、勤労を重んずる態度を養うことができるようにしています。(第1号、第2号) ●「ほけんの学び方」では、友達の考えを尊重し、グループで協力しながら取り組む学習のポイントを説明し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を育成することができるようにしています。(第3号) ●「ほけんの学び方」では、主体的・対話的で深い学びの学習過程をわかりやすく示すことで、自ら課題をつかみ、解決していく過程を通して、主体的に社会の形成に参画する態度の基礎を育成することができるようにしています。(第3号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・表2～3ページ ・6ページ ・6ページ
各章	<ul style="list-style-type: none"> ●「章とびら」では、健康の大切さや健康についての考え方について、著名人との対話形式で取り上げ、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことの大切さについて理解できるようにしています。(第1号) ●他教科や他学年の学習内容との関連を示し、幅広い知識と教養を身につける機会を数多く設けています。(第1号) ●4年「体の成長」では、個人差についてくり返し記述しています。さらに、資料ページで金子みすゞさんの詩『私と小鳥と鈴と』を使い、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしています。(第3号) ●イラストで伝統的な運動遊びを紹介することにより、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛することができるように配慮しています。(第5号) ●「学習をふり返ってみよう」のページでは、学んだことを生活の改善につなげることで、自主及び自律の精神を養う機会になるようにしています。(第2号)。 ●「新しい命のたんじょう」では、命の重みや母子の絆を示すことで、命を大切に する意識を高め、生命を尊べるように配慮しています。(第4号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・9、25ページ ・14,16,19,21,23,28ページ ・28～37ページ ・10,11,39,42ページ ・24,44ページ ・36ページ
巻末資料	<ul style="list-style-type: none"> ●「安全に外遊びをするために」では、犯罪被害を防ぐための基本的な方法を示して、安全についての幅広い知識と教養を身につけられるようにしています。(第1号) ●「地震から身を守ろう」では、時と場所を選ばない地震に対する身の守り方を示して、安全についての幅広い知識と教養を身につけられるようにしています。(第1号) ●「仲間とのよりよい関係づくりのために」では、いじめについて考える資料を提示し、生命を尊び、豊かな情操と道徳心を培えるようにしています。(第1号、第4号) ●「よりくらしやすい社会を目指して～共に助け合って生きよう」では、共生社会を実現するうえでの健康や安全に関連する資料を提示し、社会の形成者としての公共の精神を養えるようにしています。(第3号)。 ●「健康な心と体で夢をかなえよう!」では、3・4年の2年間の学習をふり返るとともに、5・6年での学習を展望し、真理を求める態度を養えるようにしています。(第1号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・45ページ ・46ページ ・47ページ ・48ページ ・49ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 運動領域と保健領域との関連の充実

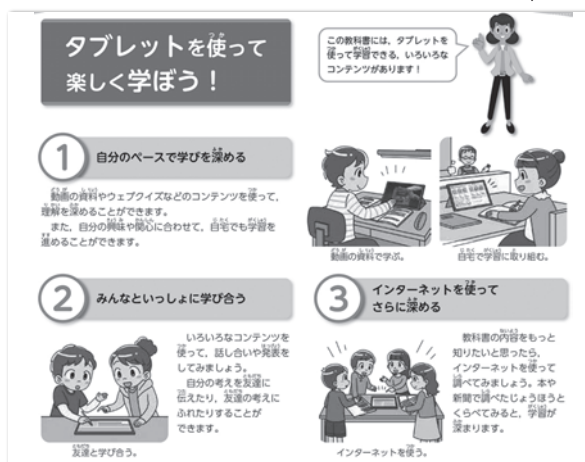
- コラム「体育の窓」を各所に設けることで、運動領域の学習内容を保健領域で生かせるようにしています。体育（運動）と健康が密接に関係しているということについて、児童が具体的に理解することができます（39 ページ）。



▲ p.39

② 教育の ICT 化への対応

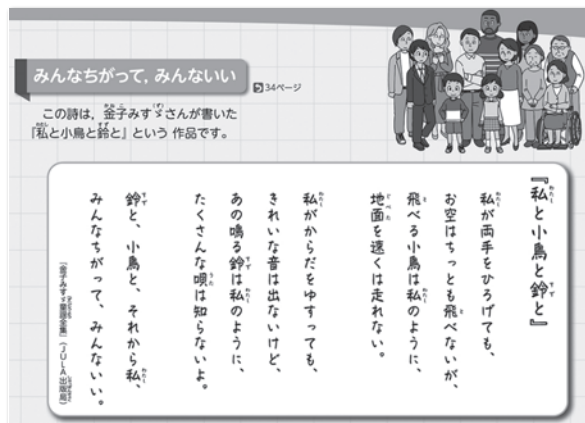
- 動画やシミュレーション、ウェブクイズなどのさまざまなデジタルコンテンツを豊富に用意しています。紙面の各所にある QR コードを読み取ると、いろいろなコンテンツを見ることができます。
- タブレットを使った効果的な学習方法について、わかりやすく解説しています（8 ページ）。
- スマートフォン・タブレットと健康の関係について、各所で取り上げるようにしています（17、22 ページ）。



▲ p.8

③ 多様性（性、年齢、国籍、障害の有無など）の尊重

- 写真やイラストの登場人物は、男女の役割を固定したり、国籍や障害の有無などにもとづく差別や偏見につながったりすることのないように、細心の注意を払っています。
- 「体の成長」や「思春期の心の変化」「性についての感じ方」についての個人差や多様性を尊重することの大切さについて、資料ページで強調しています（37 ページ）。



▲ p.37

④ UD フォントの採用と文節改行の導入

- 文字のフォントは、UD フォントを採用し、視認性と可読性を高めています。
- 文章内容を理解する前段階での不要なつまずきを防ぐため、単語や文節が行をまたいで分かれられないように、改行位置を工夫しています（文節改行）。

⑤ 特別支援教育とカラーユニバーサルデザインの専門家による検証

- 特別な支援を必要とする児童の学習のしづらさや不安を招かないように、イラストや写真の配置、マークや囲みのデザインなどの妥当性について、特別支援教育の専門家が検証しています。すべての児童が学習の流れを把握しやすく、可読性の高い紙面レイアウトになっています。
- カラーユニバーサルデザインの専門家が全ページの紙面を検証しています。さまざまな色覚の特性に対応することで、すべての児童にとって見やすくわかりやすい紙面になっています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-158	小学校	体育	保健	3・4年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	保健 308	新 小学校ほけん 3・4年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1

児童が主体的に学ぶことができ、
先生も使いやすい教科書



この教科書は、3ステップの**シンプルな学習過程**で構成しています。授業の流れがわかりやすく
なり、児童が主体的に学習を進められ、先生も安心して授業に臨むことができます。

▼ p.18

STEP

1

導入の活動



課題をつかもう

身近な生活の中から健康課題をつかみます。



きょうの課題

つかんだ課題を学習対象として捉え、学習の見通しをもちます。

STEP

2

課題を解決する活動



話し合おう

学習の課題を解決するためのさまざまな活動に取り組みます。



調べよう

この教科書には、3つの活動があります。



考えよう

STEP

3

学んだことをまとめる活動



まとめ 生かそう 伝えよう

この時間に学習したことを生かして考えたり、友達の考えと比べたりして、学習をまとめます。



① けんこうな生活

3 体のせいけつとけんこう

どうして、手をあらうのかな？ 毎日、ハンカチをとりかえるのはどうして？

あなたも下の絵のようなけいけんは、ありませんか。どうして、「手をあらってから食べなさい!」と言われるのでしょうか。

けいけん けいけん けいけん けいけん けいけん

いただきます! おやつあるわよ。 いただきます! しっかりと手をあらってから食べなさい! よごれていないから平気なの。

きょうの課題 体や衣服をせいけつにすることは、どうして大切なのでしょう。

② 調べよう

水でしめらせただしめんを手をふいたら、だしめんはどうなるのでしょうか。

ふく前の手…よごれて 手のひらや指の間をふく。 ふいた後 ふく前のだしめん (左) と ふいた後のだしめん (右)

手のよごれ

手のひらを密着につけて2〜3日たつと、手についた細菌がふえて目に見えるようになります。

水であらったとき あらう前 せっけんであらったとき

解説

細菌は目に見えない小さな生き物です。病気のもとになる細菌には、大腸菌 (写真) や結核菌などがあります。乳酸菌やビフィズス菌などは体のたからを助ける細菌もいます。

（第220頁）

▼ p.19

まとめ 生かそう 伝えよう

18ページ「課題をつかもう」で「よごれていないから平気なの」と思っているけいけんは、手あらいの大切さを教えてあげましょう。

けいけん 手あらいの大切さ

ほけん「健康な生活」6年 生かそう「生活のはたらき」5・6年

ほけんクイズにトライ!

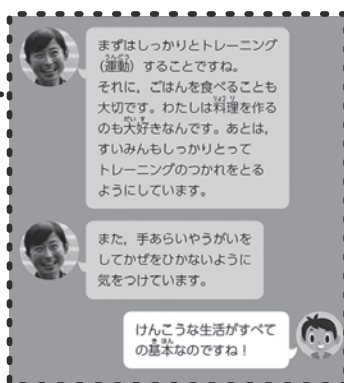
19



- ① キャラクターが思考のきっかけを提供します。また、友達と話し合い、互いの考えを共有する対話的な活動を豊富に用意することで、思考力・判断力・表現力を育成できるようにしています。



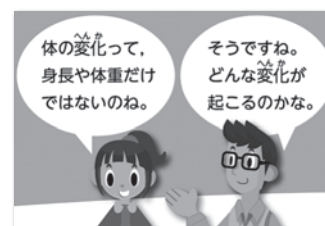
▲ p.9 道下美里さん



▲ p.12



▲ p.18

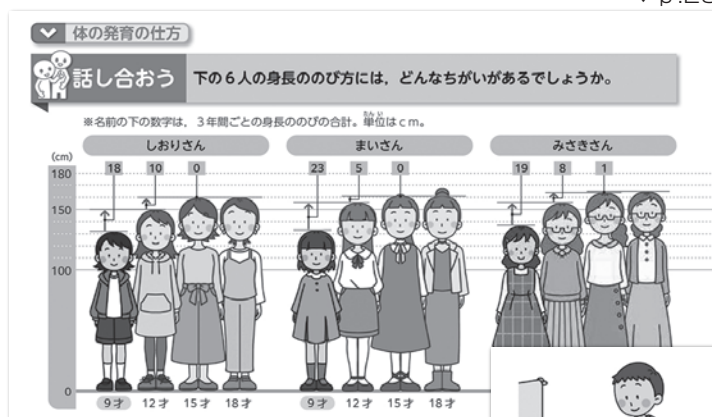


▲ p.30

親しみやすいキャラクターが学習をサポートします。それぞれの活動で働かせる見方・考え方をキャラクターが示したり、キャラクターの言葉をヒントに友達と対話を進めたりすることで、思考・判断・表現する活動が豊かになります。

対話的な活動の充実

▼ p.28



思考力・判断力・表現力を重点的に育成する場面を設定しています。

最初に自分で考え、対話を通して思考を広げる活動です。

▼ p.12



- ② A4変型判の大きな判型を生かして、記入スペースを適度に設けて思考・判断したことを表現できるようにしています。教科書の用紙は、書きやすく丈夫な用紙を採用しています。



- ① **充実したデジタルコンテンツ**が深い学びをサポートします。紙面の QR コードから簡単に閲覧できます。

動画や
シミュレーションなど

p.18▶

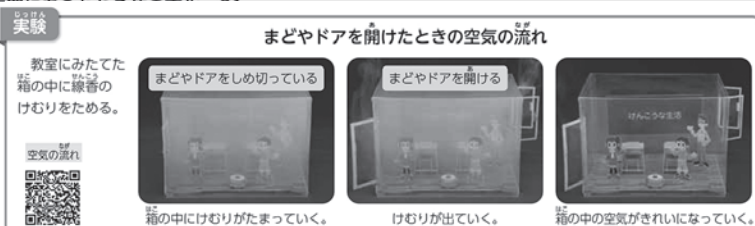
▼ p.8

1 けんこうな生活

- | | |
|--------|----------------|
| 動画 | けんこうなじょうたい …10 |
| 動画 | 1日の生活のリズム ……15 |
| 実験 | 手についた細菌 ……18 |
| 実験 | 下着のよごれ ……19 |
| 実験 | 空気の流れ ……21 |
| ウェブサイト | 正しい手洗い方法 ……22 |

2 体の成長

- シミュレーション のびた身長 27
- 動画 体の発育の仕方 29
- 動画 成長と心 30
- 動画 へ、愛 31
- 動画 関係 32
- 動画 月 33
- ウェブサイト 34
- ウェブサイト 35
- 空気の流れ 36
- 日本国 37
- 教室にみたてた箱の中に線香のむきりをためる。
- まだやドアをし.....

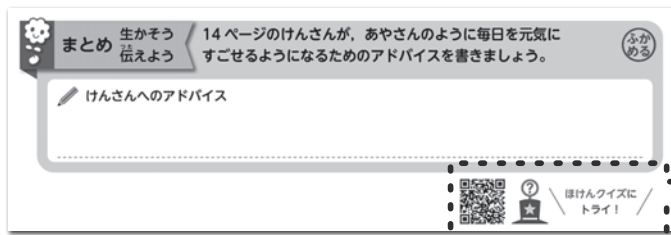


ウェブクイズ

毎時間の学習の最後に、ウェブクイズを用意しました。楽しいクイズでその時間の学習を振り返ることができます。

▲ p.21

▼ p.15



- ② パンデミックや ICT の進展などの急速な社会の変化の中で差し迫っている健康課題を積極的に取り上げ、資料として提示しています。

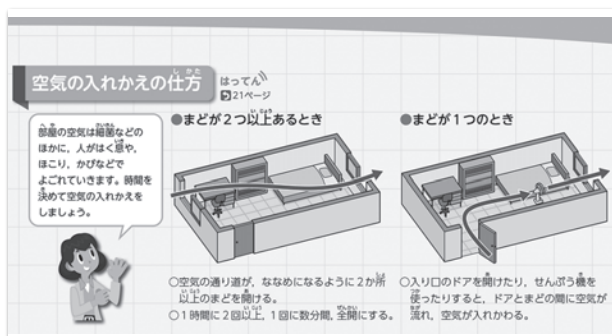


▲ p.17

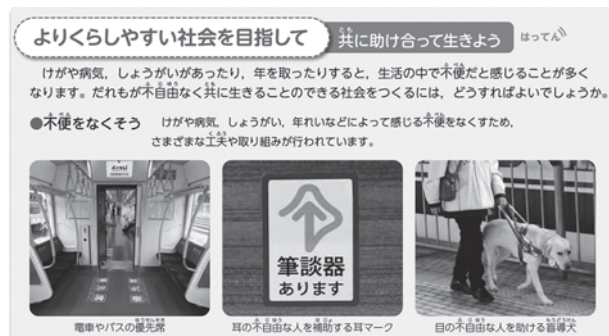


▲ p.22

▼ p.23



▼ p.48



観点別の特色一覧

教育基本法の遵守	●教育基本法第2条第1号～第5号に示された教育の目標を達成するために、教科書の内容を適切に編集しています。(全体)
学習指導要領の遵守	●小学校学習指導要領総則に示された基本方針を踏まえて、主体的・対話的で深い学びが実現するように紙面を構成しています。(全体) ●小学校学習指導要領体育科の目標を踏まえて、保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決を進める学習過程となるように紙面を構成しています。(全体)
内容・系統	●3・4年の学習内容と関連する学年の内容を示し、系統性のある指導ができるようにしています。(p.19, 21, 23, 45, 46, 47) ●他教科(算数、理科、家庭、社会、道徳など)との関連を示し、教科横断的な学習をできるようにしています。
配列・分量	●学習指導要領の目標および内容がもれなく指導できるよう、単元を配列し、教材を選定しています。 ●1時間2ページの構成を基本とすることで、教材の分量が適量になるようにしています。一つ一つの学習の時間を十分に確保し、余裕をもって指導することができます。
運動領域との関連の重視	●運動領域の学習内容を積極的に取り上げ(体育の窓)、運動と健康との関連について具体的な考えをもてるように工夫しています。(p.15, 39)
教育のICT化への対応	●「動画」「シミュレーション」などのデジタルコンテンツを豊富に用意しています。紙面のQRコードから簡単に閲覧できます。 ●毎時間の学習の最後にウェブクイズを用意しています。楽しいクイズで、その時間に学んだことを確認できます。
主体的・対話的で深い学びを促す工夫	●「章とびら」では、著名人を取り上げ、キャラクターとの対話を通して健康の大切さや健康についての考え方に触れることで、主体的な学びをスタートさせることができるようにしています。 ●3ステップのシンプルな学習過程で構成することで、授業の流れがわかりやすくなり、主体的に学習を進められます。 ●友達と話し合い、互いの考えを共有したり、思考を広げたり深めたりする対話的な活動を豊富に用意しています。
知識および技能の習得	●その時間の学習課題を「きょうの課題」として示し、学習すべき内容を明確にしています。 ●基礎的・基本的な知識を本文で簡潔に明記しています。 ●毎時間の学習の最後にウェブクイズを用意することで、その時間に学んだ知識の確実な習得を促しています。
思考力、判断力、表現力等の育成	●授業の導入において、身近な生活の中から健康課題に目を向けさせる発問を設定することで、保健の見方・考え方を働かせて思考できるように工夫しています。 ●キャラクターを適宜配置し、思考を広げたり深めたりするきっかけを提供します。 ●記入スペースを設けて、思考・判断したことを表現できるようにしています。授業時間内での指導が可能なように、記入する頻度やスペースの最適化を図っています。
学びに向かう力、人間性の涵養	●毎時間の学習の最後に設けた「まとめ 生かそう・伝えよう」では、自分の生活を見直すなどして自己の課題を修正できる活動を適宜設定しています。 ●章の最後に「学習をふり返ってみよう」のページを設けて、学んだことを現在や将来の生活に生かすことができるようにしています。
現代的な健康課題への対応	●急速に変化する現代社会の中で、健康課題として浮上しているテーマを数多く取り上げ、資料として提示しています。充実した資料が学びを広げ、深めます。

特別支援教育と カラーユニバーサル デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●特別な支援を必要とする児童の学習のしづらさや不安を招かないように、イラストや写真の配置、マークや囲みのデザインなどの妥当性について、特別支援教育の専門家が検証しています。すべての児童が学習の流れを把握しやすく、可読性の高い紙面レイアウトになっています。 ●カラーユニバーサルデザインの専門家が全ページの紙面を検証しています。さまざまな色覚の特性に対応することで、すべての児童にとって見やすくわかりやすい紙面になっています。
印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ●児童が2年間支障なく使用できるように、軽量で丈夫であるとともに、書き込みしやすい用紙を採用しています。製本は A4変型判でも開きやすく強度も保てる「あじろ綴じ」です。また、植物油インキや再生紙を使用することでアレルギーや環境にも配慮しています。

2. 対照表

配当時数 計8時間

学年	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
3年	1 けんこうな生活	(1)ア(ア), (イ), (ウ), イ	9～24ページ	全4時間
	1 大切なけんこう	(1)ア(ア), イ	10～13 ページ	1
	2 1日の生活の仕方とけんこう	(1)ア(イ), イ	14～15ページ	1
	3 体のせいけつとけんこう	(1)ア(イ), イ	18～19ページ	1
	4 身の回りのかんきょうとけんこう	(1)ア(ウ), イ	20～21ページ	1
4年	2 体の成長	(2)ア(ア), (イ), (ウ), イ	25～44ページ	全4時間
	1 育ちゆく体の変化	(2)ア(ア), イ	26～29ページ	1
	2 思春期の体の変化① 体にあられるいろいろな変化	(2)ア(イ), イ	30～31ページ	1
	3 思春期の体の変化② 体の働きの変化	(2)ア(イ), イ	32～34ページ	1
	4 よりよい成長のために	(2)ア(ウ), イ	38～41ページ	1

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-158	小学校	体育	保健	3・4年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	保健 308	新 小学校ほけん 3・4年		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ 数
17	スマートフォン・ タブレットと生活の リズム	2	G 保健 (1) 健康な生活 (1) ア 健康な生活について理解すること。 (イ) 毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠 の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を 保つことなどが必要であること。	0.5
22	スマートフォン・ タブレットと目の けんこう	2	G 保健 (1) 健康な生活 (1) ア 健康な生活について理解すること。 (ウ) 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気など の生活環境を整えることなどが必要であること。	0.5
23	空気の入れかえの仕方	2		0.5
35	骨の成長	2	G 保健 (2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (ア) 体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・ 発達には、個人差があること。	0.75
35	歯の成長	2		0.25
36	新しい命のたんじょう	1	G 保健 (2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (イ) 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体 つきが変わったり、初経、精通などが起こったりする こと。また、異性への関心が芽生えること。	0.5
43	運動のしすぎに 気をつけよう	1	G 保健 (2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、 食事、休養及び睡眠が必要であること。	0.75
43	体の成長を助ける 成長ホルモン	1		0.25
45	安全に外遊びをする ために	1	G 保健 (1) 健康な生活 (1) ア 健康な生活について理解すること。 (ア) 心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要 因や周囲の環境の要因が関わっていること。 (2) 体の発育・発達 (2) ア 体の発育・発達について理解すること。 (ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、 食事、休養及び睡眠が必要であること。	1

46	地震から身を守ろう	1	<p>G 保健 (1) 健康な生活</p> <p>(1) ア 健康な生活について理解すること。</p> <p>(イ) 毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。</p> <p>(2) 体の発育・発達</p> <p>(2) ア 体の発育・発達について理解すること。</p> <p>(ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること。</p>	1
47	仲間とのよりよい関係づくりのために	1	<p>G 保健 (1) 健康な生活</p> <p>(1) ア 健康な生活について理解すること。</p> <p>(ア) 心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていること。</p> <p>(イ) 毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。</p> <p>(2) 体の発育・発達</p> <p>(2) ア 体の発育・発達について理解すること。</p> <p>(イ) 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。</p>	1
48	よりくらしやすい社会を目指して	2	<p>G 保健 (1) 健康な生活</p> <p>(1) ア 健康な生活について理解すること。</p> <p>(ア) 心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていること。</p>	1

合計 8.0 ページ